

2021年10月17日版  
(2021年11月21日ガイシアリーナ 県外からの参加あり用版作成)

## 愛知県アイスホッケー連盟

### 愛知県アイスホッケー連盟主催大会

#### 新型コロナウイルス感染症対応マニュアル

新型コロナウイルス感染症の猛威は止まることなく、ワクチン接種は始まりましたが、終息の目途はたっておりません。このような状況下で、スポーツイベントの開催は、必ずしも社会全体からの賛同、理解を得ていないことを我々関係者は理解することが必要です。

人間社会の構築・発展において、スポーツは人々の生活を豊かに、幸福にするものとして常にその傍らにあったことも事実です。アイスホッケー大会の開催は、「社会の日常にスポーツという文化を取り戻す」一助になるものと確信いたしますが、大会開催が、新型コロナウイルス感染症の拡大を誘発することは避けなければならいと考えます。大会に参加・参画するすべての方は、大会を開催するという、社会的な意義とそれに伴う責任を十分に理解の上、国民の信頼を損なわないための自覚と行動をお願いしたいものです。新型コロナウイルスは変異ウイルスとなり我々に脅威を与えています。我々は昨年度の大会で感染者を出さなかったことに胡坐をかくことなく、選手らに感染リスクを高めない競技会を提供できるよう関係するすべての人々が最大限の努力を行うことを求めます。

皆さまはぜひ、新型コロナウイルスに対しての個人防衛をお願いします。選手、チームスタッフ、競技役員、試合運営に携わるすべての皆さま、そのご家族一人一人が、新型コロナウイルスの特性を理解し、感染を予防する行動を取ってください。

それでも感染を100%防ぐ手だては、現時点では、残念ながらありません。ワクチンを接種しても感染を広げたり、発症したりする可能性が完全になくなるわけではなく、さらに発症した場合の治療で特効薬はないため、ワクチンを接種したとしてもしばらくはマスクの着用や手指消毒などの対策を続ける必要があるとされています。

「体調が悪いけど、我慢して試合に出よう、ボランティアにいこう、ちょっと試合を観るだけだ」といった行動が、感染を広げてしまう可能性があります。発熱・咳・倦怠感などの症状を認めたら休む勇気を持つこと。そのことをチームに連盟に報告する勇気をもつことを、是非お願いいたします。またファンの皆さまにも、観戦にあたって、発

熱・咳・倦怠感などの症状,を認めた場合にはアリーナに行かない、という文化の醸成が求められています。こうした個人防衛と集団防衛を通じて、社会防衛に貢献していきましょう。

まず、「新型コロナウイルスの感染防止に関する大会等の実施基準」（日本アイスホッケー連盟ホームページ参照）を土台に、下記のことを基本にコロナウイルスにうち勝つ工夫をしていきましょう。

※【 】内の対象者は、特に注意してください。

#### 【前提】

・本マニュアルは、（公財）日本アイスホッケー連盟主催大会新型コロナウイルス感染症対応マニュアル（2021年9月5日版）を、愛知県アイスホッケー連盟主催大会に沿うよう修正したものである。

・本マニュアルは、今後の更新も起こりえるものであり、最新のマニュアルを確認すること。

#### 【本マニュアルの適用範囲】

- ・当連盟加盟クラブによる当連盟主催で開催する試合。
- ・ブロック予選等、他県よりチームを招聘し、当連盟が主催して開催する大会。
- ・他県が主催する大会への遠征は適用範囲外となるが、本マニュアルを参考に感染対策をすること。
- ・大会毎に、大会に合わせてマニュアルが補足される場合がある。

### 1. 新型コロナウイルス感染症の感染経路は2つ【全員】

(1) 飛沫感染（咳・くしゃみ、おしゃべりによる感染）

(2) 接触感染（手、肌で触れることによる感染）

※ 特殊な環境下（密閉空間、長時間、多量のウイルス量）では、空気感染（エアロゾル感染）もあり得ると考えられていることにも留意すること。

【日ア連マニュアルを遵守】

### 2. 一般的な予防方法【全員】

(1) 「3つの密（密閉、密集、密接）」を避ける。

(2) 手洗いと咳エチケットに心がける。

(3) 口・鼻・目に不用意に触れない。

(4) 規則正しい生活とバランスの取れた食事に心がける。

【日ア連マニュアルを遵守】

### 3. 感染を注意すべき関係者【全員】

(1) 選手、チームスタッフ、およびその家族・同居人

(2) スタッフ：大会役員、競技役員、およびその家族・同居人

(3) アリーナスタッフやトレーニング施設スタッフ

(4) 試合運営に関わるボランティア、警備スタッフ、売店スタッフ、清掃スタッフ

(5) チームバスの運転手、選手の送迎車両の運転手

(6) メディア

(7) ファン・観客

【日ア連マニュアルを遵守】

### 4. 関係者全員が、毎日の健康チェックの提出と行動記録を【全員】

(入場制限)

▪ スケートリンク受付にて体温を測定し、37.5℃以上であれば、入場を禁止する。

選手に限らず、すべての関係者を対象とする。

▪ 試合出場チームは、オールメンバー表に健康状況のチェックすること。

(試合時のメンバー表の提出)

▪ 試合出場チームは、試合2週間前から健康管理を行い、オールメンバー表に健康状況のチェックすること。

▪ オールメンバー表に健康管理項目を記載し、試合会場（スケートリンク、控室等を含むリンクサイド、観客席とする。以下同じ）に入場する際に提出すること。

▪ 大会2週間前からの健康チェックシート（オールメンバー表、オフィシャル健康管理表とは異なる14日前から健康管理を行うもの）は、毎試合持参し、当日の感染対策担当にシートを見せてから入場する。試合時、健康チェックシートを持ってない選手他関係者は、リンクに入場出来ない。

▪ レフリー、ラインズマン、オフィシャル担当は、受付にて体温を測定の上、オフィシャル健康管理表に健康管理項目を記載すること。

▪ オールメンバー表、オフィシャル健康管理表提出後に来場した関係者は、試合会場に入場する前にゲームスーパーバイザー又はオフィシャル責任者に入場を希望する旨を伝え、オールメンバー表、もしくはオフィシャル健康管理表に、健康管理項目を記載すること。

▪ 健康チェックでは、日々の健康チェックに加え、体調不良者が出た場合、数時間後に

改善したとしても、直ちに大会事務局に一報入れる。

- ・大会開始2週間以内及び大会中に発熱があったものは、医療機関への受診、PCR 検査、抗原検査等を行うこと。

- ・ゲームスーパーバイザー（もしくは感染対策担当者）は、提出されたオールメンバー表及びオフィシャル健康管理表、健康チェックシートに問題がないことを確認すること。異常や空欄があれば、ゲームスーパーバイザーが記載内容を確認の上、入場の可否を判断すること。

- ・ 各チームが定める責任者は、選手の健康状態、行動内容を常に把握管理し、大会開始2週間前から大会終了2週間後のチームの新型コロナウイルス感染症の状況を大会事務局に報告する。

- ・ 毎日の行動記録：買い物、会食、戸外でのトレーニング等、出向いた場所・同行者などの毎日の行動メモを残す。（提出は求めないが、確認が必要となる際に提出できるようにすること。）

【日ア連マニュアルとの違い】大会が長期にわたるため、大会2週間前からの健康チェックシートの記載を行う。

## 5. 愛ア連主催大会は、一部を除き、当面、限定つき無観客試合とする

- ・ 基本的に無観客と原則とする。

- ・ 下記関係者に限り、観覧席の使用を認める。

チーム所属選手、マネージャー、コーチ（faceoff システムの登録の有無に限らない）  
オンライン配信をする者（チームにつき2名まで）

高校生以下の大会に限り、選手につき保護者1名。

- ・ 上記制限の解除については、大会毎に検討する。

- ・ 応援等、大きな声を出さないこと。

- ・ 密にならないよう、前後左右1席以上空けること。

- ・ マスク、手指消毒を着用すること。（10/17 手袋から手指消毒に修正）

- ・ オンライン配信等、会場に来なくてもよい観戦の工夫をすること。尚、配信に不適切な映像の公開を行わない等、マナーを守った活用を心がけること。

【日ア連マニュアルとの違い】日ア連マニュアルは保護者も含め、無観客となっているが、保護者の送迎が必要等の状況を鑑みて、現状に一定の緩和を行っている。

## 6. スクリーニング検査の実施

- ・ 大会開催2週間以内及び大会中に発熱があったものは、医療機関への受診、PCR 検査、抗原検査等を行うこと。（再掲）

**・各大会最初の出場試合日の前日または当日に、抗原検査キットを使用したスクリーニング検査を行うこと。**結果の事前提出は求めないが、各チームの感染対策担当が管理を行う。

・大会開始2週間以内及び大会中に陽性者が出たチームは、保健所の許可が下りるまでは活動及び大会出場を禁止とする。

・大会2週間前からの健康チェックシート（オールメンバー表、オフィシャル健康管理表とは異なる14日前から健康管理を行うもの）は、毎試合持参し、当日の感染対策担当にシートを見せてから入場する。**試合時、健康チェックシートを持ってない選手他関係者は、リンクに入場出来ない。**

【日ア連マニュアルを遵守】

## 7. 大会前の練習等について【選手、チームスタッフ】

(1) 大会開始日の2週間前から対外チームとの合同練習や試合を行わない。

(2) 大会期間中だけでなく2週間前から外部（他チームやOB、友人、知人等）との接触を可能な限り控える。

【日ア連マニュアルとの違い】では、「可能な限り」の文言はないが、長期にわたる大会となるため、上記文言を追加する。

## 8. 試合前後のトレーニングでの全般的注意事項【選手、チームスタッフ】

(1) 共通のモノを通じた接触を減らしこまめに消毒する。タオル・ウオータボトル・防具・スティックなど

(2) 全員が感染防止マナーを守る。

① 社会的距離（できるだけ2m、最低1m）

② 咳エチケット（不織布のマスク着用を含む）

③ 手洗い、手指消毒（70-80%アルコール）

④ 不用意に自分の顔、とくに目・鼻・口などの粘膜に触れない。

⑤ 握手、ハイタッチ、抱擁など物理的な接触は禁止

⑥ 唾吐きや不要な会話、大声を避ける。

⑦ 控室、トイレなどのドアノブはこまめに消毒して。

(3) 自動車利用者は、可能な限り着替えは自宅や自動車内、宿泊施設で済ませ来場する。

【日ア連マニュアルとの違い】では、チーム全体ではなく、グループ単位で練習を行うとしているが、県内のリンク環境等の状況を鑑みてそこまでの制限はしない。

## 9. 練習前後のミーティング【選手、チームスタッフ】

- (1) ビデオミーティングで済ませるようにする。
- (2) 実施する場合は屋外で、短時間で実施。不織布のマスクを着用。社会的距離（できるだけ 2m、最低 1m）をとる。（以後できる限り不織布のマスクを着用することを勧める）
- (3) トレーナーの選手対応は不織布のマスク・手指消毒など標準予防策をとる。
- (4) 各トレーナーが一つのグループに対応することが望ましいが、チーム事情を勘案する。

【日ア連マニュアルを遵守】

## 10. 試合開始直前【選手、チームスタッフ、大会役員、競技役員】

- (1) ブルーラインの整列は社会的距離（最低 1m）をとる。
- (2) 試合開始直前に行うレフェリーからの注意は試合前に行う。
  - ① ビデオミーティングで済ませることを推奨する。
  - ② 実施する場合は屋外で、短時間で実施。不織布のマスクを着用。社会的距離（できるだけ 2m、最低 1m）をとる。手指消毒など標準予防策をとる。
  - ③ ホームチームを決める必要のある場合も事前に決めておく。
  - ④ レフェリー委員会から「新型コロナウイルス感染予防に対するの通達」及び「2021-2022 シーズンローカルルール新型コロナウイルス(COVID-19)感染防止策」も出ます。各チーム内で周知しておくこと。

### (3) 試合開始に先立ち行う挨拶

① レフェリーとの接触を避ける。握手せず社会的距離をとって礼のみ

② 相手チームスタッフとの接触を避ける。レフェリーも同様

(4) 試合前に行う円陣は小さくならないように配慮。エアータッチなどの工夫で接触を避ける。

- (5) GK のウォーターボトル等は、自分で設置、移動することに心がける。

【日ア連マニュアルを遵守】

## 11. 試合中【選手、チームスタッフ】

- (1) ベンチ内は社会的距離を意識し、向かい合わないなど工夫する。
- (2) 選手以外のスタッフは不織布のマスク・手指消毒など標準予防策をとること。
- (3) あごマスク等を含めマスクを外した場合は、懲戒の対象になる。
- (4) 選手・スタッフは、ベンチ内では飛沫感染防止のため、大声を出さない。（ペナル

ティ対象)

- (5) 唾吐きやいったん口に含んだ水などを吐きだす行為は禁止する。(ペナルティ対象)
- (6) タオル、飲水ボトル等を共用しない。(個人の物は、個人で運ぶ=スティックなど)
- (7) **ベンチ内の選手は交代選手・ドアマンを除き着席すること。**

【日ア連マニュアルとの違い】日ア連マニュアルでは、(7)他県にてラインズマンが感染した事例が発生しており、ラインズマンと選手の距離を可能な限り取りたいことが狙いである。控え選手、マネージャーは、ベンチ横のリンクコーナーアクリル板裏を使うなど、距離をとることを認める。

邦和スポーツランドでは施設の構造上、着席する方が密になる状況があり、着席については“原則”の文言を加えたが、ガイシアリーナでは着席することとしている。

## 12. 休憩時【選手、チームスタッフ、大会役員、競技役員】

(1) 控室内でも社会的距離（できるだけ 2m、最低 1m）を確保し、人数制限があるところは、それを守る。

- ① 空いている部屋があれば追加の控室として利用できるよう割り当てる。
  - ② 空きの部屋もなく社会的距離を確保できない場合には、ベンチ裏や観客席等も視野に工夫する。(控室以外で着替える必要がある場合、監督スタッフは、その選手が他チームと接することが無いよう、特段の配慮を行う)
- (2) 選手及びスタッフは不織布のマスク・手指消毒など標準予防策をとること。
- (3) 選手への指示は飛沫感染を意識して短時間に、大声を出さないなど工夫する。
- (4) 控室の滞在時間を、できるだけ減らす。
- (5) 控室使用中は、ドアや窓を開けたままにし、扇風機やサーキュレーターを用いて換気に心がける。控室を離れる際、施錠を忘れずに行う。

【日ア連マニュアルを遵守】

## 13. 試合終了後【選手、チームスタッフ大会役員、競技役員】

(1) 試合終了後、両チーム分かれてオフィシャルボックスに向かって社会的距離（最低 1m）をとって整列する。

(2) 表彰のある場合 授与者及び介添人は不織布のマスク・手指消毒など標準予防策をとること。握手を禁止し、写真の撮影はソーシャルディスタンスを配慮して行う。

(3) 試合結果アナウンス。両方向に向かって礼をしてベンチに戻る。

(4) レフェリーや相手チームへの挨拶はしない。

(5) TOTO 等の助成大会は、両チームの選手代表が必要な旗を持ち、写真撮影を行う。

(6) ベンチに戻った選手から、不織布のマスク着用のうえ所定の場所で、帰る準備を短

時間で済ませる。

(7) シャワールームの利用は感染症対策（密接・密集を避ける。清掃・消毒の徹底。換気を十分にする。）を徹底する。対策が不十分の場合は、自宅や宿泊施設に戻ってからの利用とする。

(8) 自動車利用者は、可能な限り着替えは自宅や自動車内、宿泊施設で行い、選手控室（更衣室）では行わない。

(9) 自宅や宿泊施設に戻ったらヘルメットやグラブ、スティック、スケート靴など他人の飛沫がつきやすい用具の消毒、ジャージやストッキングなどの洗濯を行う。

(10) 防具の保管・管理は個別に行うこと。

【日ア連マニュアルを遵守】

#### 14. 監督会議【チームスタッフ、大会役員、競技役員】

(1) 監督会議を行う大会においては、大会開始日の 10 日～2 週間前に Web で行う。

(2) 通知文書はメールで行うことを原則とする。

【日ア連マニュアルとの違い】 監督会議のない大会は通常通り。

#### 15. 練習場・試合会場へのアクセス【選手、チームスタッフ】

(1) 公共交通機関を利用しないことが、推奨される。

(2) 自家用車で一人ずつアクセスすることが、推奨される。止むを得ず、複数名で自家用車に乗車する場合は、空調、窓開けなどによる換気を最大限行う。

(3) 駐車場でも余裕があれば、離れて駐車することが、推奨される。

(4) チームバスを利用する場合には、バス会社への事前の依頼事項を徹底する。

(5) バス乗車人数を減らし各選手間の距離 1.5～2m を確保する。

(6) 着席する際は出来るだけ前後左右に各 1 席の空席を確保し、運行中は移動しない。

(7) バス内では不織布のマスクを着用する。

(8) バス内での飲食は控える。

(9) 窓を開けて、換気をする。1 時間につき 3 回の換気が推奨される。

(10) サービスエリア等での休憩時もマスクを着用し、感染予防に資する行動をとる。

(11) 乗降時には手指を消毒する。

※ バス会社への事前の依頼事項

・ 励行する感染症予防対策ガイドライン等の提示（行政機関、加盟同業団体、自社制作等）

・ 利用直前の車内消毒

・ 乗務員の体調管理及びマスク、手袋の着用

・ 手指消毒液等の車内配備

・ 運行中の車内通気・換気の徹底



## 16. 試合会場への入場【チームスタッフ、大会役員、競技役員】

(1) 到着時に体温チェックし、37.5 度以上の者は会場への立ち入りを禁止する。

(2) 会場への入場を密にならないようにコントロールする。

① 常時不織布のマスクを着用する。

② 選手・チームスタッフと家族・メディアの導線を分ける。

③ 会場内で定められた動線を守ること。

(3) 大会2週間前からの健康チェックシート（オールメンバー表、オフィシャル健康管理表とは異なる14日前から健康管理を行うもの）は、毎試合持参し、当日の感染対策担当にシートを見せてから入場する。**試合時、健康チェックシートを持ってない選手他関係者は、リンクに入場出来ない。(再掲)**

【日ア連マニュアルを遵守】

## 17. 取材に関して【大会役員、競技役員】

(1) 取材を認める場合下記のような厳格な感染対策をとる。取れない場合は入場を許可しないこともある。

① 常時不織布のマスクを着用する。

② 選手・チームスタッフと、報道関係者の導線を分ける。

③ オンライン取材や取材場所を屋外などに限定し、常に社会的距離（できるだけ 2m、最低 1m）をとる。

④ 取材前に体温測定し、37.5 度以上の場合、会場から退去していただく。

⑤ 取材者とその家族・同居者が、直近 14 日間にコロナ感染症の疑い症状（発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常）を起こしていないことを、宣誓する。

⑥ 緊急時の連絡先をご提出いただく。

⑦ 取材は3分以内とする。

【日ア連マニュアルを遵守】

## 18. チームの宿泊（宿泊施設への依頼や相談）【選手、チームスタッフ】

(1) チームの宿泊施設の従業員や利用客との接触を減らすよう工夫する。

(2) 施設単位またはフロア単位での貸し切りを検討する。

(3) チーム専用の入口、動線、エレベーター等を設置できないか検討する。

(4) 食事会場はチーム専用になるよう、検討する。また、入れ替え時に、他のチームなどと交差しないよう宿泊施設に工夫をしていただく。

(5) チームが使用する部屋は事前に消毒、換気するよう検討する。

(6) 連泊する場合の客室の清掃は、チームの不在時に清掃、または清掃しないことも選

択肢にする。

(7) チームが訪れる各所（特にトイレ）に手指消毒液を設置するよう検討する。

(8) その他チームの行動規範

① 自室以外では不織布のマスクを着用する。

② エレベーターのスイッチや階段の手すりに、素手で触れないようにする。触れたら、すぐに手洗い、消毒する。

③ ホテルのサウナ、フィットネスルーム、バー等に立ち入らないようにする。

④ ホテルの浴室は個室のものを使用する。個室に浴室がない場合の浴場の利用にあたっては、チームの専用時間の設定、十分な換気、最小限の会話、短時間利用等の工夫をする。

(9) 部屋割り（部屋割表記録）

① 原則、一人一部屋とし、部屋間の往来禁止を厳守すること。

② 部屋の換気に配慮する。温度 21 度、湿度 50～60%が推奨される。

③ マッサージルーム内を混雑させないように留意する

【日ア連マニュアルを遵守】

## 19. 食事（宿泊施設への依頼や相談）【選手、チームスタッフ】

(1) 選手の席は 1.5～2m の距離をあける。向かい合わせの配席は不可（座席図を記録に残す）

(2) 十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらす工夫をする。

(3) 食事中は会話を厳禁とし、会話をする際にはマスクを着用する。食事時間も長くないように考慮する。

(4) 食事は一人ずつ取り分けた状態で用意する。（ビュッフェ形式は可能な限り避ける）。

(5) 食事中、宿泊施設の方は食事会場に居ないようにする。片付けはチームが退出したあとに行う。

(6) ビュッフェ形式では料理を取る際は、飛沫が大皿に飛ぶことを防ぐため、各人が不織布のマスクを着用し会話を控え、手袋または個人専用トングを使用すること。

(7) 外食は慎む（家族・同居者との外食は可。）特に 5 人以上の外食はリスクが高い。

(8) ドアや窓の開閉など換気状況を確認し、換気が不十分と推測された場合、サーキュレーターなどを置いてもらう。

【日ア連マニュアルを遵守】日ア連マニュアルは遠征を元にしたものである。県内の大会では可能な限りチーム内の飲食を行わない。

## 20. ミーティング【選手、チームスタッフ】

(1) 可能な限り、ビデオ会議（Web）を検討する。

(2) リアルで実施する場合は、部屋の換気に留意する。監督・コーチ、選手が 1.5～2

mの距離をとって着席してください。

【日ア連マニュアルを遵守】

## 21. 無観客での試合開催【大会役員、競技役員】

### (1) アリーナ内のゾーニング

- ① できるだけ来場者の人数を少なくする。
- ② ゾーン分けしておくことで、感染者が出た場合の影響範囲を限定する。
- ③ ベンチに入らない者は、5において観覧席の使用を認められた者を除き試合会場内に滞在しない。

(2)各チームにおいて来場者（オールメンバー表に記載されていない、試合会場に入場する者）の一覧表を作成する。

- ① 来場時刻、退場時刻を記録する。
- ② 来場者全員の連絡先を把握しておく。
- ③ 密接にならないように座席の配置を工夫する。

【日ア連マニュアルを遵守】「項番5」に記載のとおり、原則無観客としている。大会役員、競技役員については、オフィシャル健康管理表に記載を行う。

## 22. 新型コロナウイルス感染症対応で必要となる情報【チームスタッフ】

### (1) チームでの準備する情報

- ① 参加者名簿（選手、監督、スタッフ）、観戦者および同伴保護者
- ② 大会開始 2 週間前からのチーム行程（旅程）表
- ③ 宿泊施設の部屋割表
- ④ 参加者（選手、監督、スタッフ）、観戦者および同伴保護者の基礎疾患
- ⑤ 保護者等の連絡先

【日ア連マニュアルを遵守】ただし、県内の大会に関しては上記情報の事前提出は求めないが、情報を求めた場合に速やかに提出できる状況にしておくこと。

### 【会場設営計画のポイント（感染対策スライド参照のこと）】

【日ア連マニュアルには会場設営の原則が記載されている。大会を運営するものは日ア連マニュアルを参考にすること】

### 【大会準備にあたっての最重要留意点】

- J I H Fが定める「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」等を参考に、「（仮

称) 新型コロナウイルス感染症対策専門委員会 (以下「コロナ対策専門委員会」) を設置し、感染対策及び各チームからの情報収集を行う。

- 各チームに、感染対策担当を設置し、コロナ対策専門委員会の指示の下、チーム内の徹底した感染対策及び、発熱者等が出た際にはコロナ対策専門委員会に報告する。
- 県内における感染拡大状況及び、当連盟所属チームにおける陽性者の発生等により、大会もしくは試合の中止、延期をコロナ対策専門委員会が判断することがある。

【日ア連マニュアルを参考に独自に作成】